

バルカン半島 インフォメーション

バルカン半島には日本ではまだまだ知られておりませんが、ヨーロッパの中でアルプス、ピレネー、北欧に次いで大きな山岳地帯があります。様々な民族、異文化の混在した歴史的に魅力あふれる地域でのハイキング&登山の旅にご案内します。

① プリトヴィツェ湖群 国立公園(クロアチア)

階段状に並ぶ大小16の滝で結ばれ、特異な景観を作りだしている国立公園です。1979年にユネスコ世界遺産に登録されました。



▲プリトヴィツェ湖群国立公園

② ドブロヴニク(クロアチア)

「アドリア海の真珠」と称えられるこの街はオレンジ色の屋根と街を取り囲む堅固な城壁で、どこから見ても絵になります。1979年にユネスコ世界遺産に登録されました。



▲ドブロヴニクを眼下に望むスルジ山のハイキング



▲スロヴェニア最高峰トリグラウ

③ ユリアン・アルプス (スロヴェニア)

古代ローマの時代にユリウス・カエサル(カエサル・シーザー)が山麓に都市を築いたことから命名されました。イタリア、スロヴェニア、オーストリアの3国にまたがり、石灰岩質の白い岩肌と緑美しい森が特徴です。

④ アルバニア・アルプス (アルバニア)

アルバニアの北部に連なる山々で、「呪われた山々」と呼ばれる通り、標高2,000m後半の荒々しい山々が鋸の歯のように連なります。山麓の村々はヨーロッパでも最も開発が進まなかった場所で近年、外国からのトレkkerに人気を集めます。



▲テシ村からのアルバニア・アルプス



▲ピリン国立公園ピレン山

⑧ ピリン国立公園 (ブルガリア)

ブルガリア南西部のピリン山脈にある国立公園で、起伏に富んだ地形のため、ブルガリア随一の植物の多様性を生み出しており、固有植物が生息するなどの価値も認められ、1983年に世界遺産に登録されました。



▲ドゥルミトル国立公園

⑨ ドゥルミトル国立公園 (モンテネグロ)

モンテネグロを代表する国立公園で最高峰のポボトヴクック(2,532m)をはじめ、50を超える2,000m峰が連なります。氷河期に形成された起伏に富んだ地形は豊富な植物相を生み、1980年に世界遺産に登録されました。

⑦ メテオラ(ギリシャ)

ギリシャ本土のほぼ中央の平原に突如、林立する岩山がメテオラです。頂上に辿り着くことさえ困難と思われる垂直な岩山の上に修道院が建ち、修道士・修道女が暮らしてきました。文化的価値が認められ、1998年に世界遺産に登録されました。



▲メテオラの奇岩群と修道院

⑤ モスタル (ボスニア・ヘルツェゴビナ)

ボスニア・ヘルツェゴビナ南部の中心都市モスタル。市内を流れるネレトバ川に架かるスタリ・モスト(古い橋の意)は16世紀に建てられた美しい橋で、橋と旧市街が2005年に世界遺産に登録されました。



▲モスタルのスタリ・モスト橋

⑥ コトル(モンテネグロ)

モンテネグロ西部、アドリア海沿岸コトル湾の最奥に位置するコトルは天然の要塞の地の利を生かして古くから城塞湾都市として栄えてきました。美しい街並みと歴史的建造物の価値が認められ1979年に世界遺産に登録されました。



▲裏山よりコトルの旧市街を望む

